



大蛇のなみだへの想い

大牟田地域に伝わる祇園祭の象徴である大蛇。勇壮な姿と口から吐く炎は観る者すべてへの心を動かします。そんな、勇壮な大蛇の心をも動かす様な指上くさしあげものに成ればと想います・・・

大牟田の地域ブランドの確立と

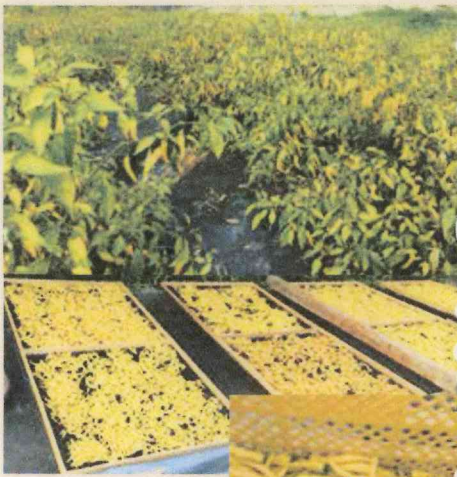
誇りある特産品を目指して

安全安心

一切の農薬を使用しない無農薬栽培

地産地消

大牟田の大地で育み大牟田の人が育てる



黄色の唐辛子



江戸時代、多面活躍した天才学者『平賀源内』が描き残した油絵の一枚に、当時国内で栽培されていたとされる五十二種ほどの唐辛子に色付けを持って描いています。その中に、黄色く鮮やかに描かれている唐辛子があり、平賀源内が『指上くさしあげ』と命名したと伝えられます。食材本来の色彩を損なう事無く、香り、辛味、更に料理の味を邪魔しないで、しっかりと唐辛子の持ち味を主張します。



1瓶 432円

大蛇が世界の子ども達を救う運動の展開

皆様から、お買い上げいただいた商品代金の一部を、公的機関を通じて寄付させていただきます。皆様の善意が、世界の子ども達の命と健康を守る一助となりうる運動の展開に御協力をください。

O-MUTA, KARA

代表 大竹 雷太

感謝状

O-MUTA, KARA様

あなたは世界の子どもにワクチンを
日本委員会的主意に賛同し発展途上
国の子どもの命と健康を守るための
活動に多大なご支援を下さいました
ここに深く感謝の意を表します

二〇一四年八月二二日

特定非営利活動法人
世界の子どもにワクチンを 日本委員会

理事長 和川佳代子

